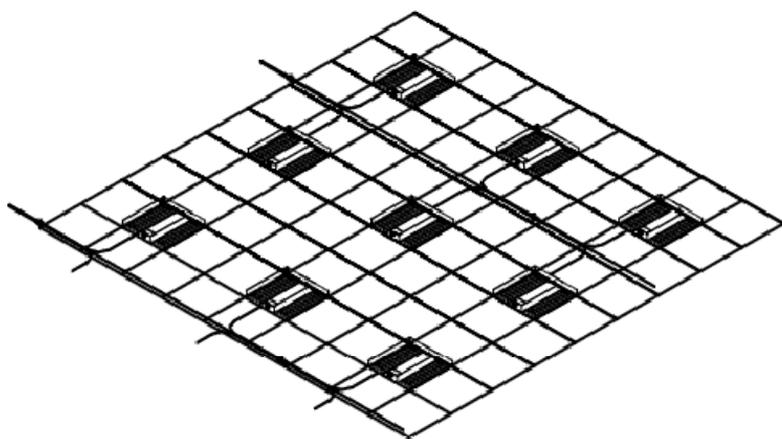
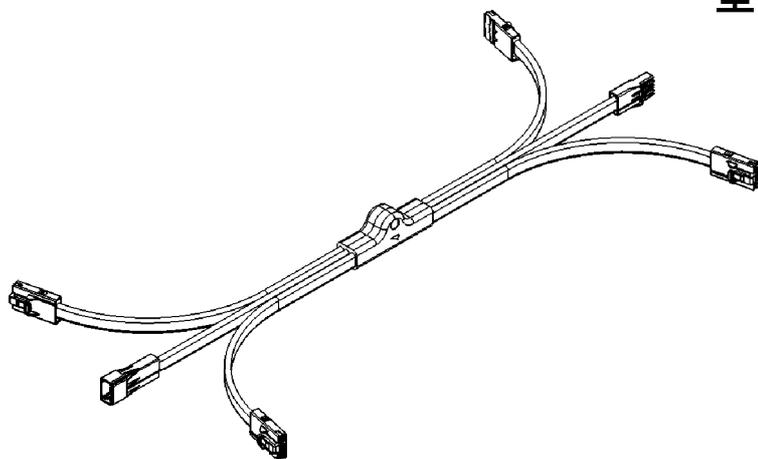


施工要領書

照明配線用モジュール 電力用

型式： HZ6N153A(コネクタ付モジュール)
 HZ6N133A(T/U 0.5m)
 HZ6N133B(延長 3m)
 HZ6N133C(分岐追加 3m)



もくじ

ページ

工事の前に

| | |
|-----------|---|
| 安全上のご注意 | 3 |
| 各部の名前と部品表 | 5 |
| 仕様 | 7 |

事前準備

| | |
|--------------|----|
| 施工上のご注意 | 9 |
| 1. 取り付け位置の確認 | 11 |
| 2. 吊りボルトの取付け | 12 |

取付工事

| | |
|------|----|
| 設置手順 | 13 |
|------|----|

施工時の確認

| | |
|-------------|----|
| 引き渡し時の確認 | 22 |
| 施工確認チェックリスト | 23 |

- 本施工要領書を必ずお読みいただき、正しく安全に施工してください。
- 施工前に「安全上のご注意」(3～4 ページ)および「施工上のご注意」(9～10 ページ)を必ずお読みください。
- 配線工事は、「電気設備の技術基準」および「内線規程」、「電気工事士法」に基づいて施工してください。
- この施工要領書は大切に保管してください。

「施工要領書(本紙)」の注意事項を守らないために発生した故障については、保証期間内であっても無償修理の対象外となりますのでご注意ください。

●本施工要領書では、人への危害・財産の損害を防止するため、必ず守っていただきたいことを説明しています。

●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下に区分して説明しています。

| | |
|---|--|
|  警告 | 誤った取扱いをしたとき、死亡するなどの重大な結果に結びつく可能性があるもの。 |
|  注意 | 誤った取扱いをしたとき、障害または損害に結びつくもの。 |

●守っていただきたい内容を次の図記号で説明しています。

| | |
|--|---------------|
|  禁止 | 絶対に行わないでください。 |
|  必ず守る | 必ず指示に従ってください。 |

工事の前に

安全上のご注意(必ずお守りください)

- 電気工事は、「電気設備の技術基準」、「内線規程」、「電気工事士法」に基づき施工してください。
- 万一、注意事項に従わず使用された場合の故障や事故については、責任を負いかねます。
- 施工終了後、施工確認チェックリスト(26 ページ)に従い、施工内容を確認すると共に、お客様に使い方、動作確認および日常点検を説明してください。

警告



禁止

- 活線での電気工事はしないでください。⇒感電の原因になります。
- 製品の分解・穴あけなどの改造はしないでください。
⇒感電・火災の原因になります。
- 製品は、引火物や可燃性ガスの近くに設置しないでください。
⇒火災の原因になります。
- 水が掛かる場所には設置しないでください。⇒感電・火災の原因になります。



必ず守る

- 電気配線は、「電気設備の技術基準」、「内線規程」、「電気工事士法」に基づき施工してください。
⇒感電の原因になります。
- モジュール同士のコネクタ接続や、照明器具とのコネクタ接続は、「カチッ」と音が鳴るまで確実に挿入してください。
⇒接触不良や発熱・火災の原因になります。
- 使用しないコネクタにはキャップを取付けてください。
⇒感電の原因になります。

⚠ 注意



禁止

- 当社指定の部品以外は、使用しないでください。
⇒ 強度不足による不具合や、接続不良の原因となります。
- 施工中、仮固定のまま製品を放置しないでください。
⇒ 落下による製品の破損や、けがをする恐れがあります。
- 保管する際は、製品に水が掛からないようにしてください。
⇒ ケーブル端末やコネクタから水が浸入し、絶縁不良の原因となります。
- 定格 (AC100V・200V / 20A) を超えた使用はしないでください。



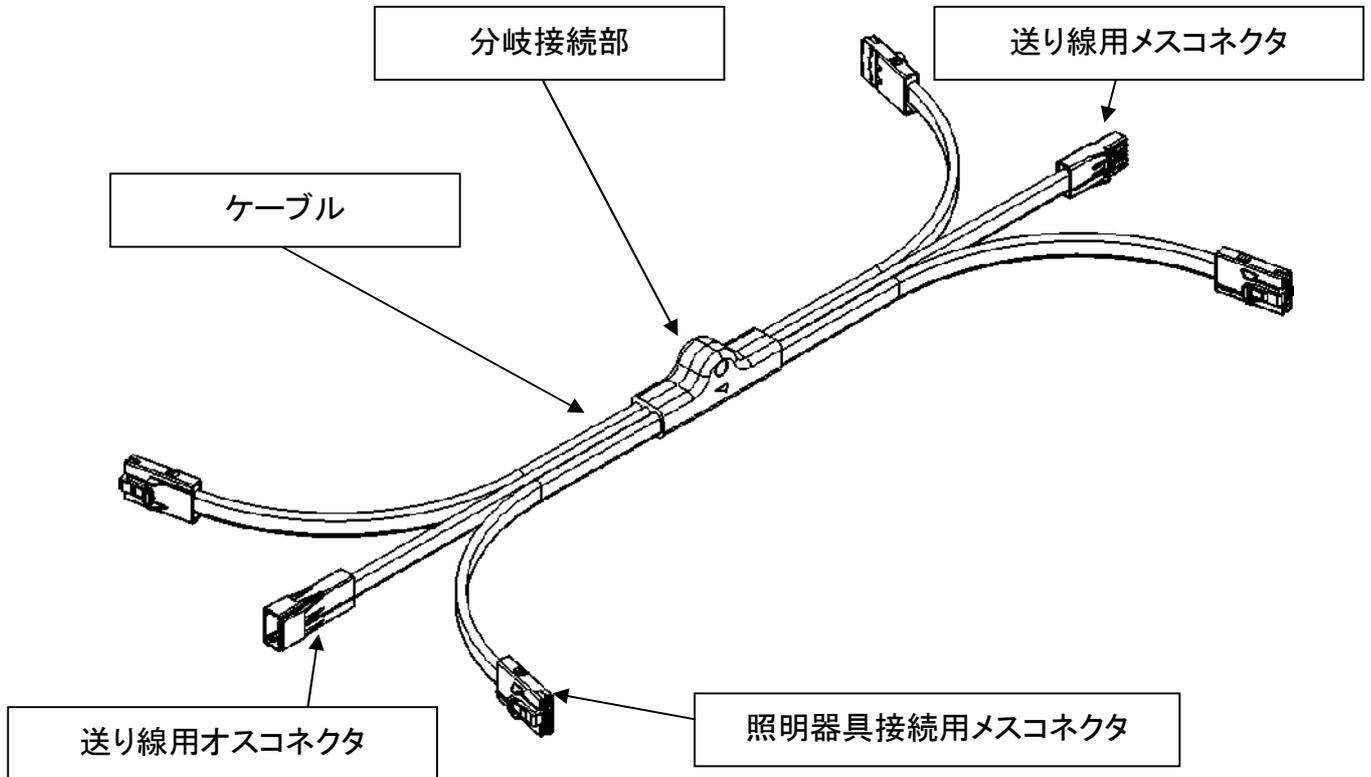
必ず守る

- 運搬・設置の際は、周囲の安全を確認してください。
⇒ 落下・転倒によるけがの原因になります。
- 保管する際は、荷崩れしないように注意してください。
⇒ 不安定な状態で保管すると、荷崩れして、けがの原因になります。
- 工事作業は、手袋などの保護具を着用してください。
⇒ けがの原因になります。

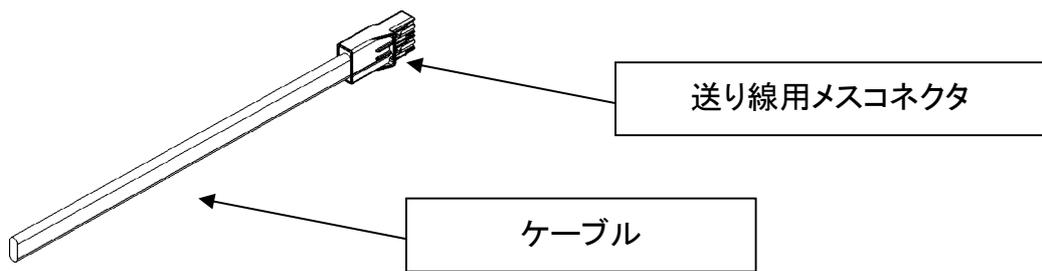
各部の名前と部品表

■各部の名前

●コネクタ付モジュール

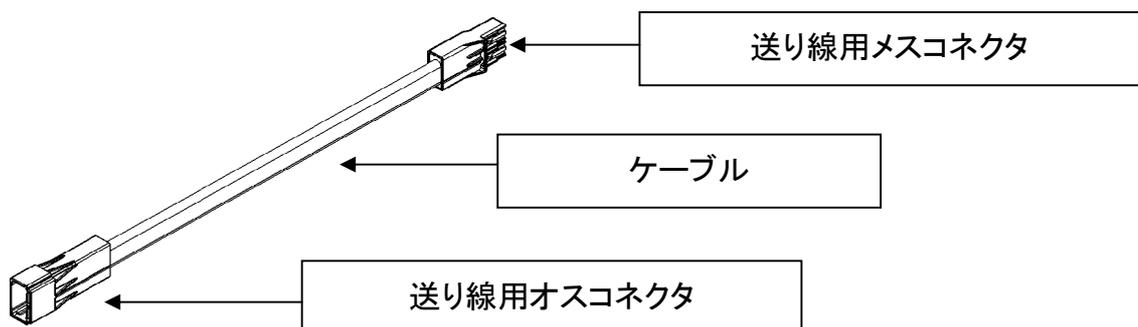


●コネクタ付ケーブル(T/U 0.5m:T/Uに接続します)

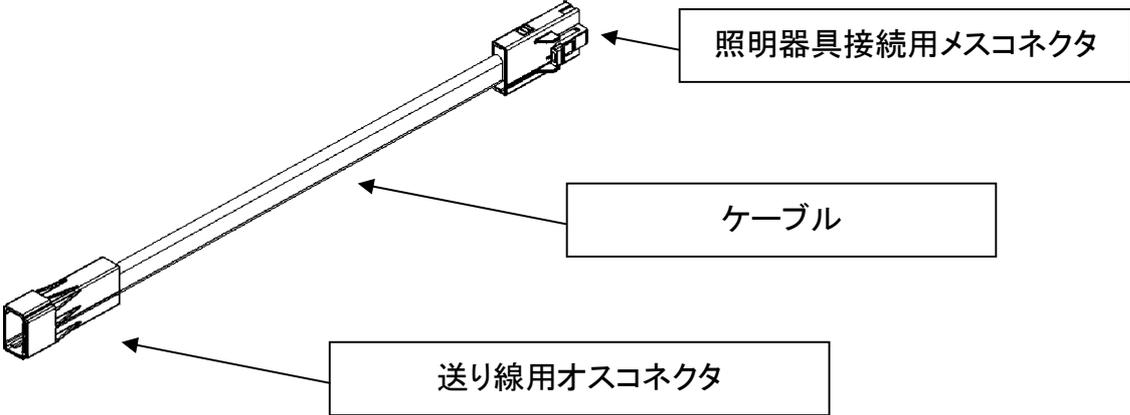


※T/U:ターミナルユニット

●コネクタ付ケーブル(延長 3m:モジュール間の延長に使用します)

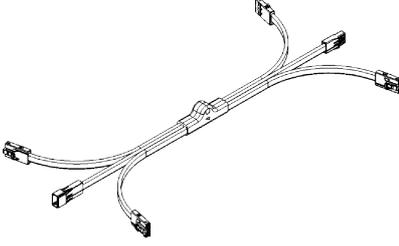
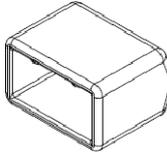
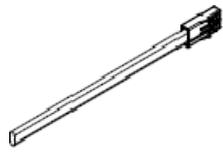
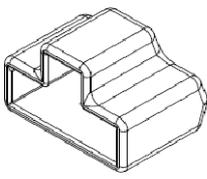
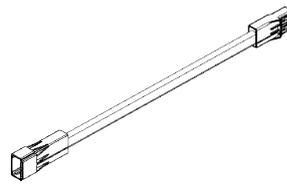
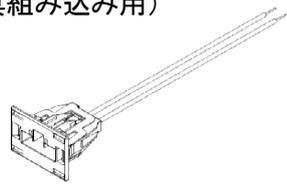
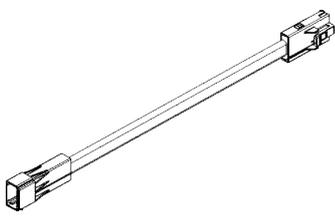
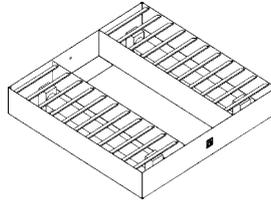
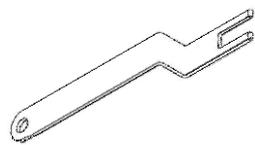


●コネクタ付ケーブル(分岐追加 3m:照明器具へ接続するコネクタを追加します)



※送り配線用メスコネクタからのみ追加できます

■ 部品表

| 種別 | 部品名 | 種別 | 部品名 |
|----|--|----|---|
| A | コネクタ付モジュール  | E | 送り用メスコネクタキャップ ※1  |
| B | コネクタ付ケーブル (T/U 0.5m)  | F | 照明器具接続用メスコネクタキャップ ※1  |
| C | コネクタ付ケーブル(延長 3m)  | G | コネクタ付リード線 ※2 (照明器具組み込み用)  |
| D | コネクタ付ケーブル(分岐 3m)  | H | コネクタ付照明器具 ※2  |
| — | 施工要領書(本紙)※4  | — | 電源送り用コネクタロック解除治具※3  |

※1 : コネクタ付モジュールの使用において、使用しないコネクタにはキャップを取付けてください。
オプション品となります。

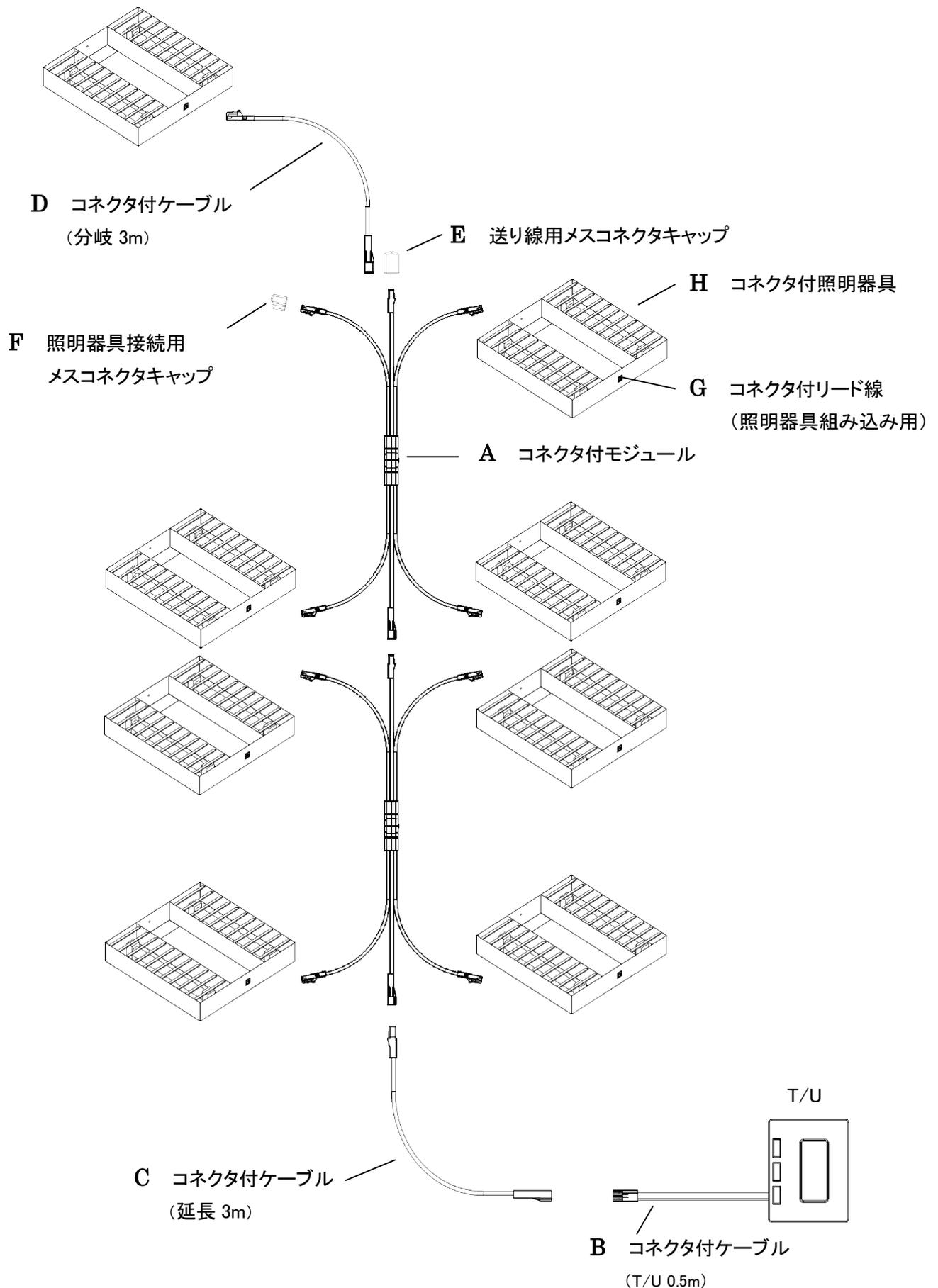
※2 : 照明器具メーカーとお打合せの上、コネクタ付リード線が組み込まれた照明器具をご使用ください。

※3 : オプション品となります。

※4 : データにて無償配布しますので、必要に応じて弊社までご用命ください。

部品の組立概要図

●詳細は、P17 ページ以降をご確認ください。



仕 様

■型式および品名

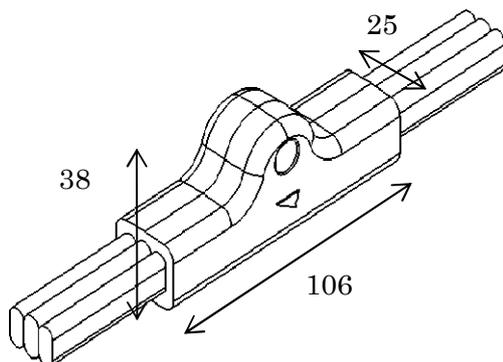
| 型式 | 品名 | 備考 |
|----------|------------|------------------|
| HZ6N153A | コネクタ付モジュール | 幹線:2.5m、分岐線:2.5m |
| HZ6N133A | T/U 0.5m | 0.5m 片端コネクタ付 |
| HZ6N133B | 延長 3m | 3m 両端コネクタ付 |
| HZ6N133C | 分岐追加 3m | 3m 両端コネクタ付 |

■仕様

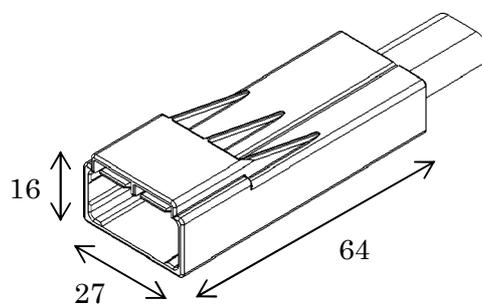
| | |
|---------|------------------------------------|
| 定格電圧 | 単相 AC100V・200V 50/60Hz |
| 定格電流 | 20A(照明器具接続用コネクタは 3A) |
| 使用温度範囲 | -20°C~40°C |
| 分岐接続部寸法 | 幅 25mm×高さ 38mm×長さ 106mm |
| 取付け穴寸法 | φ10 mm(M10) |
| 幹線ケーブル長 | 2.5m |
| 分岐ケーブル長 | 2.5m |
| 質 量 | 約 2.4kg |
| 防水 | 分岐接続部:JIS C 0920 IPX6 相当/コネクタ部:非防水 |
| 設置場所 | グリッド天井の照明配線 |

■外形寸法 (mm)

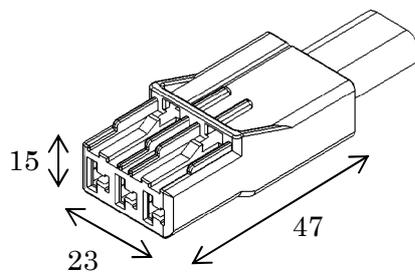
●分岐接続部



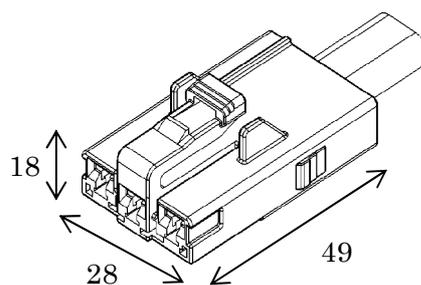
●送り線用オスコネクタ



●送り線用メスコネクタ



●照明器具接続用メスコネクタ



事前準備

施工上のご注意

- 製品に強い衝撃や、ケーブルに強い張力を与えた場合、故障・傷・変形などの原因となりますので丁寧に取り扱ってください。
- 開梱する際、カッターなどで製品に傷を付けないように注意してください。
- 施工時の汚れ落としに、有機溶剤（ベンジン、シンナー、アセトンなど）や家庭用洗剤を使用しないでください。
- 製品に水が掛からないようにしてください。

⚠ 注意



必ず守る

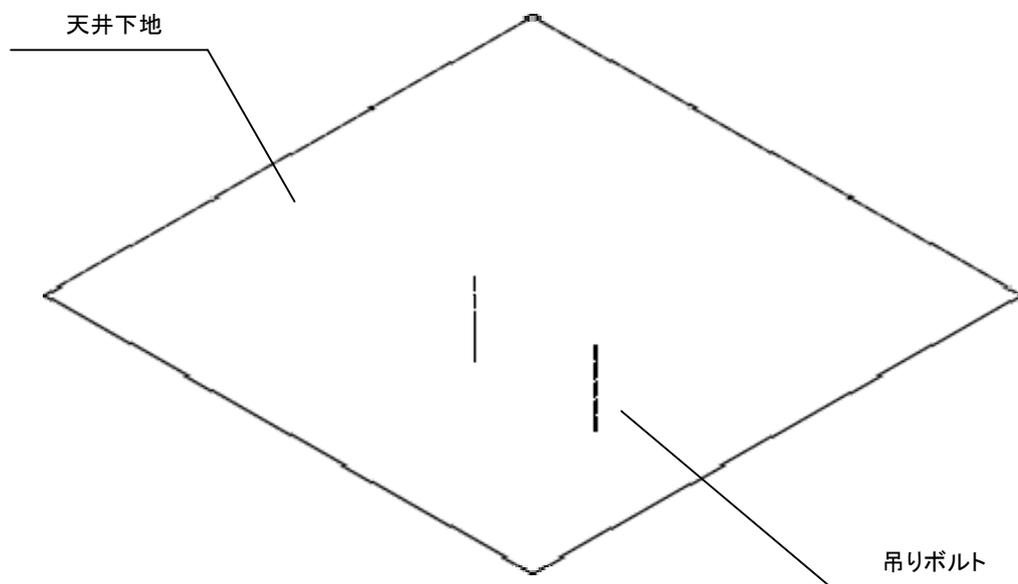
- 温度範囲 -20°C ~ 40°C を超える恐れのある場所には、設置しないでください。
- 屋内に本製品を設置してください。
- 本製品を造営物にしっかり取付けてください。
- ケーブルに張力が加わらないように配線してください。

1. 取付位置の確認

- ① 構造躯体を確認したうえで、配線工事計画に従って分岐接続部の取付け位置を決めてください。
- ② コネクタ付モジュールの取付けは、天井設置前の先行配線と、設置後の後配線にて行うことができます。お客様の都合に合わせて配線を行ってください。

2. 吊りボルトの取付け

- ① 分岐接続部の取付け予定位置に吊りボルトを取付けてください。
- ② 吊りボルトの長さは構造躯体、配線計画に合わせた長さとしてください。なお、吊りボルトのサイズは M10 のサイズを選定ください。



警告



必ず守る

- 「電気設備の技術基準」、「内線規程」に従い配線工事をしてください。
⇒ 誤った配線をした場合、感電・火災の原因になります。

取付工事

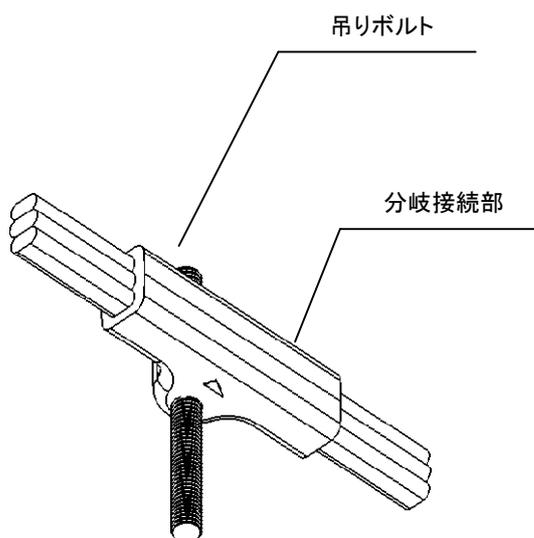
設置手順

1.開梱

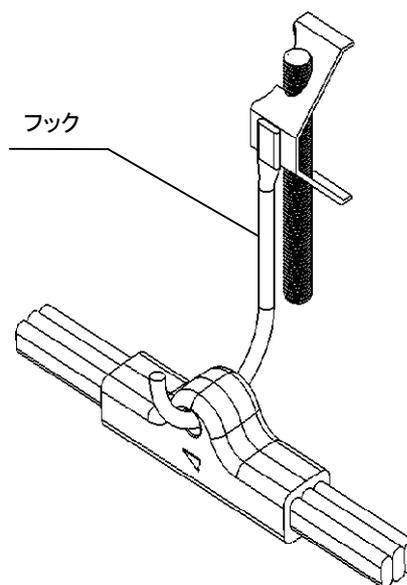
袋から製品を取り出し、部品表(6 ページ)の必要な部品が揃っていることを確認してください。

2.分岐接続部の取付け(例)

- ① コネクタ付モジュールの取付けは、分岐接続部の取付け穴を利用して吊りボルトに取付けてください。



直接吊りボルトに取付け



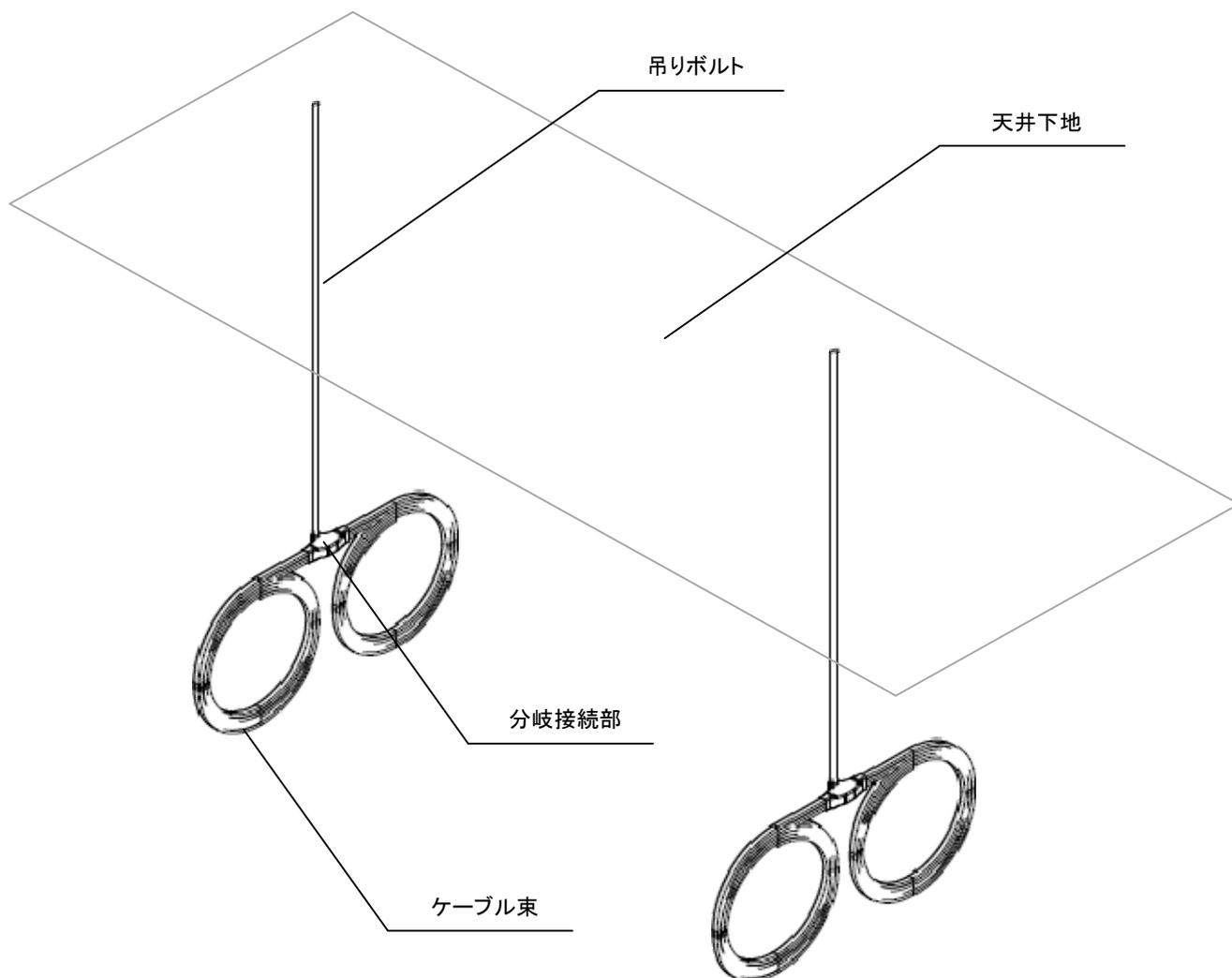
例)フックを利用して取付け

【ご注意】

- 分岐接続部の取付け穴を直接吊りボルトに差込む場合、一時的な製品の保持は出来ませんが、ケーブルに過度の張力が加わると吊りボルトから脱落する恐れがあります。必要に応じて分岐接続部の下側にナット等を取付け脱落防止の処置をしてください。なおナット等の部材は付属していませんので、別途ご用意ください。
- 直接吊りボルトに差込んで固定する場合、一度取り外すと取り付け穴が変形するので、製品の保持が出来なくなります。再取り付けを行う場合は、脱落防止の処置を必ずしてください。
- 分岐接続部の取付けに、釘やネジ、ボルト、インシュロック等を使用する場合、モールド部やケーブルに傷や変形がないような施工を行うようにしてください。

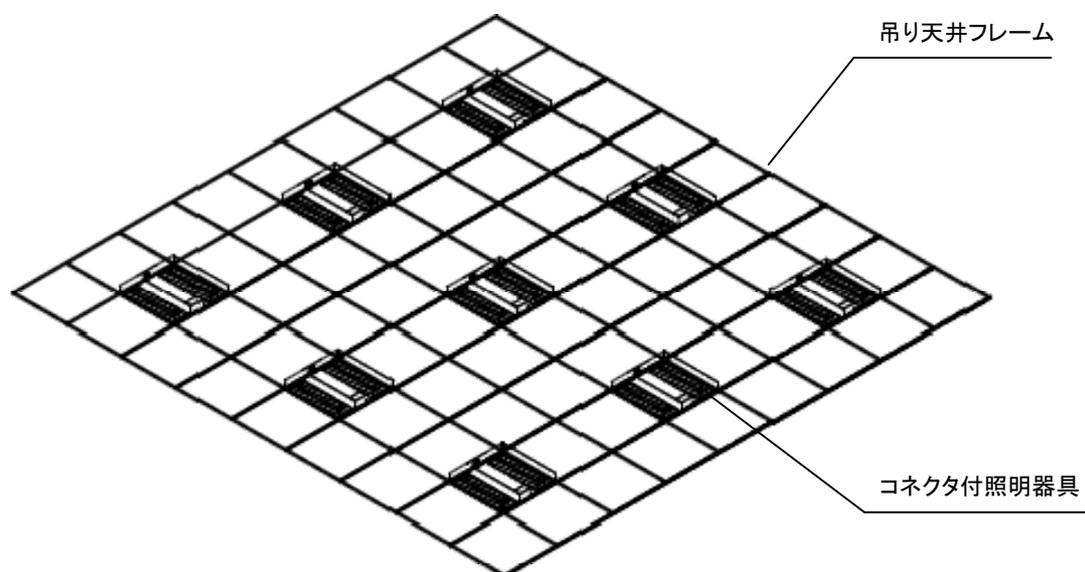
3.ケーブルの仮固定(天井設置前の場合)

- ① 天井設置工事の妨げにならないように、ケーブル束は解かず、束のまま仮固定しておいてください。
ケーブル束は照明器具の設置の後に解いてください。



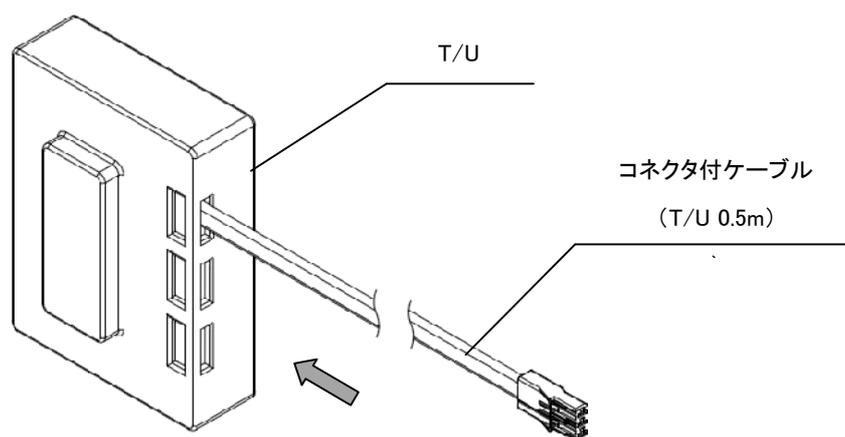
4. 照明器具の設置

- ① 配線計画に従って、天井フレームの所定の位置にコネクタ付照明器具を設置してください。



5. ケーブルの接続 (T/U)

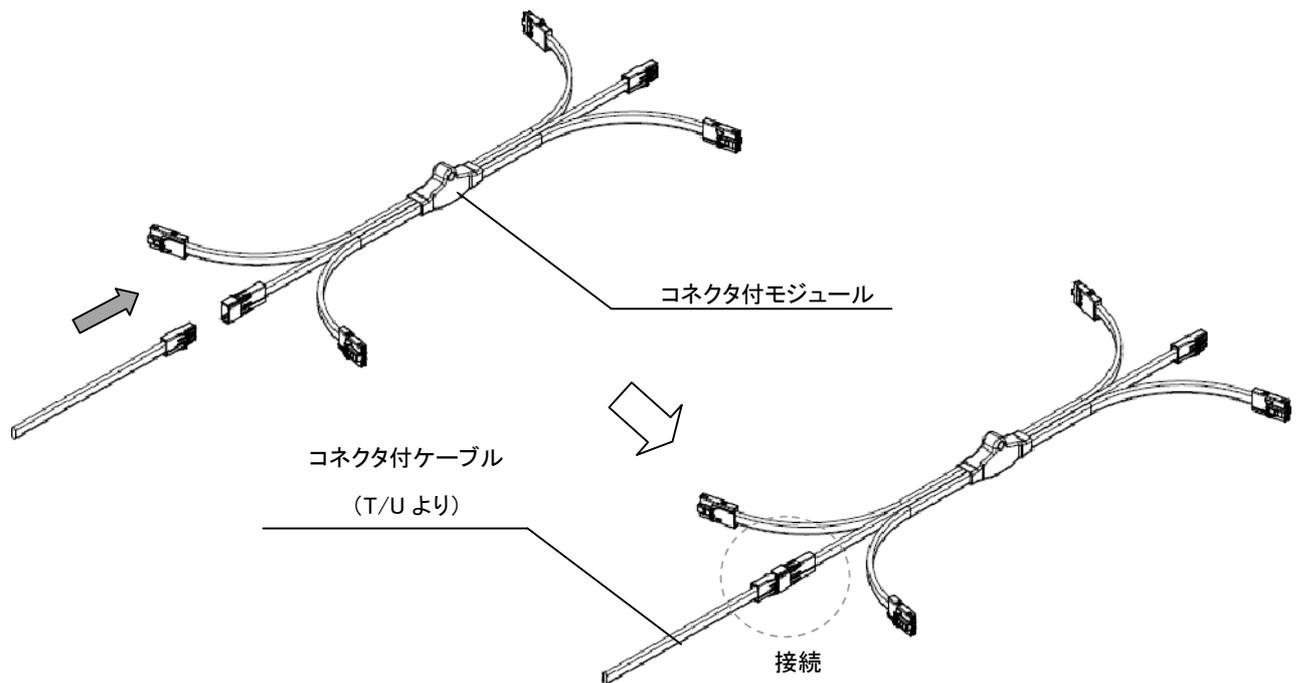
- ① コネクタ付ケーブル (T/U 0.5m) の端末を T/U に接続してください。



【ご注意】

- T/U への接続は、メーカーの接続指示に従って、電気工事士の資格者が行ってください。
- 破損する恐れがあるため、ケーブルやコネクタに過度の張力を加えないようにしてください。
- ケーブルは許容半径以下となるような配線は行わないでください。
- コネクタ直近でケーブルを最小曲げ半径以下で曲げたり、振じったりしないでください。

- ② コネクタ付モジュールの送り線にはコネクタが取付けられています。T/U からのコネクタ付ケーブルをコネクタ付モジュールに接続してください。



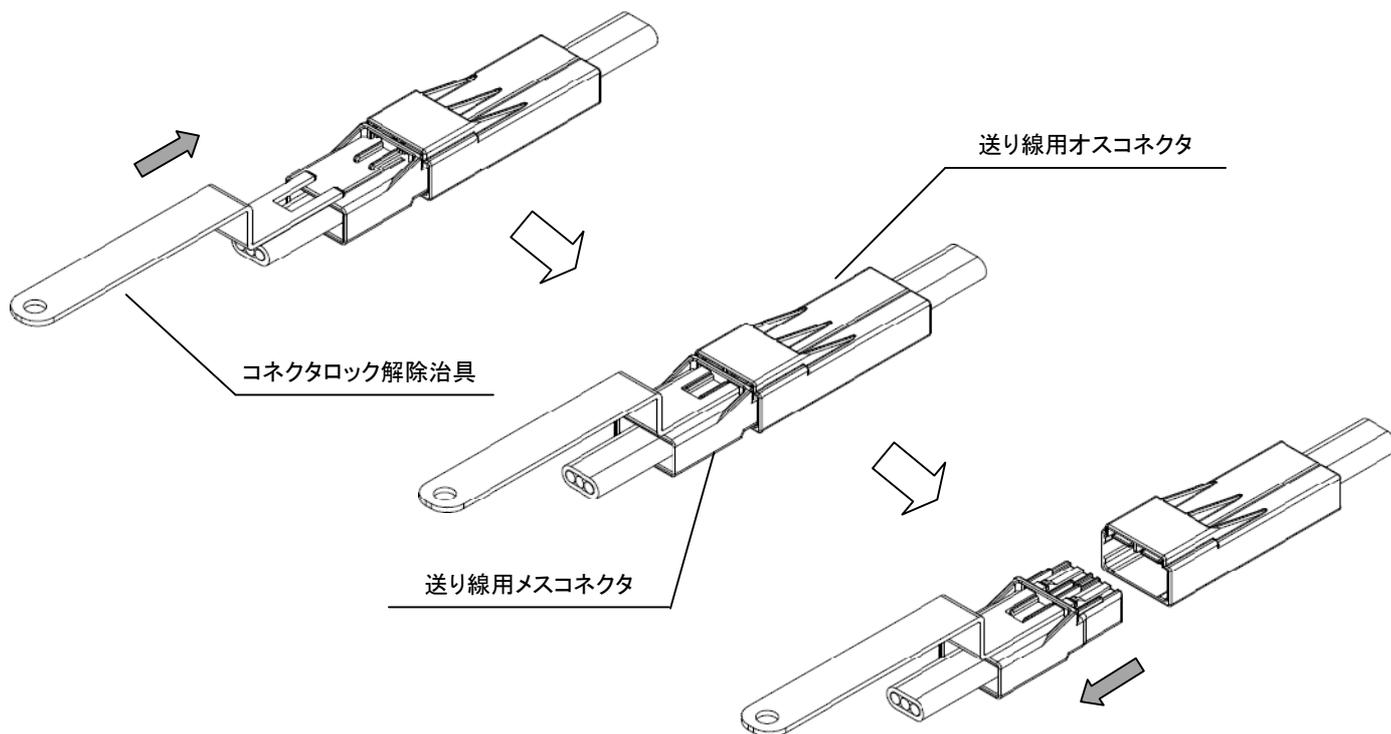
⚠ 警告



必ず守る

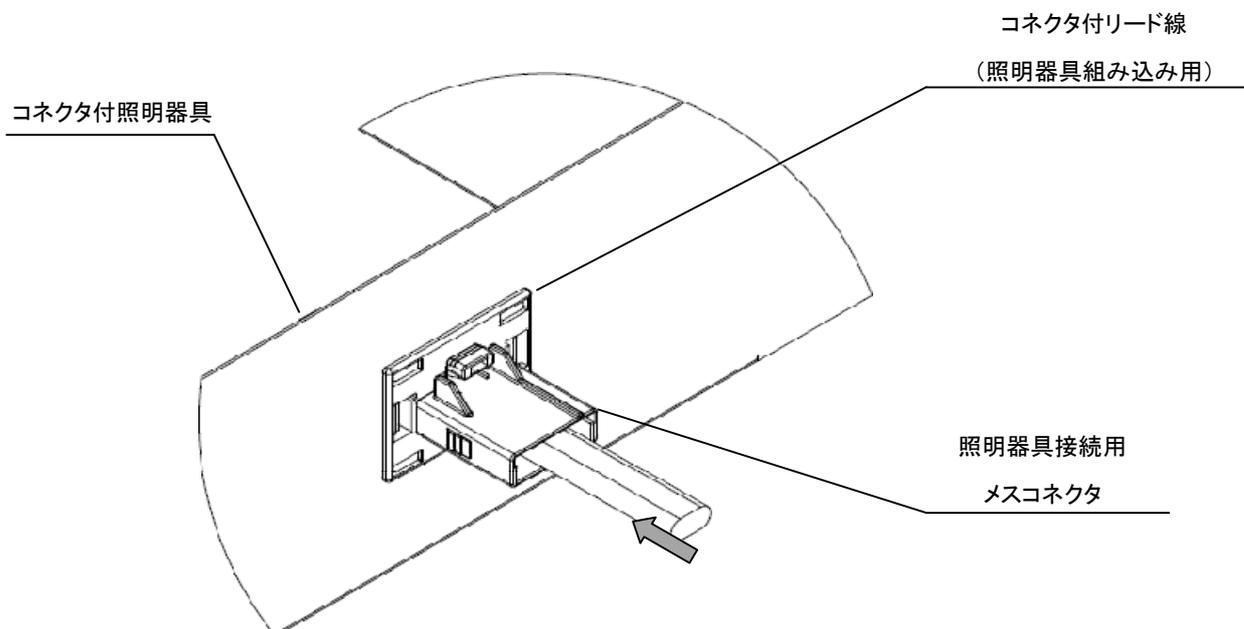
- コネクタの接続は、確実に「カチッ」と音がするまで差し込んでください。接続が不十分の場合、発熱・火災の原因になります。

- ③ 誤って接続した場合は、専用のコネクタロック解除治具を使用してコネクタを取り外してください。



6. ケーブルの接続(照明器具側)

- ① 照明器具メーカーで予めコネクタ付リード線が照明器具に取付けられていることを確認してください。
- ② 照明器具へのケーブル接続は、コネクタ付モジュールのケーブル端末に取付けられたメスコネクタを使用します。
- ③ コネクタの向きに注意して、メスコネクタをカチッと音がするまで差し込んでください。



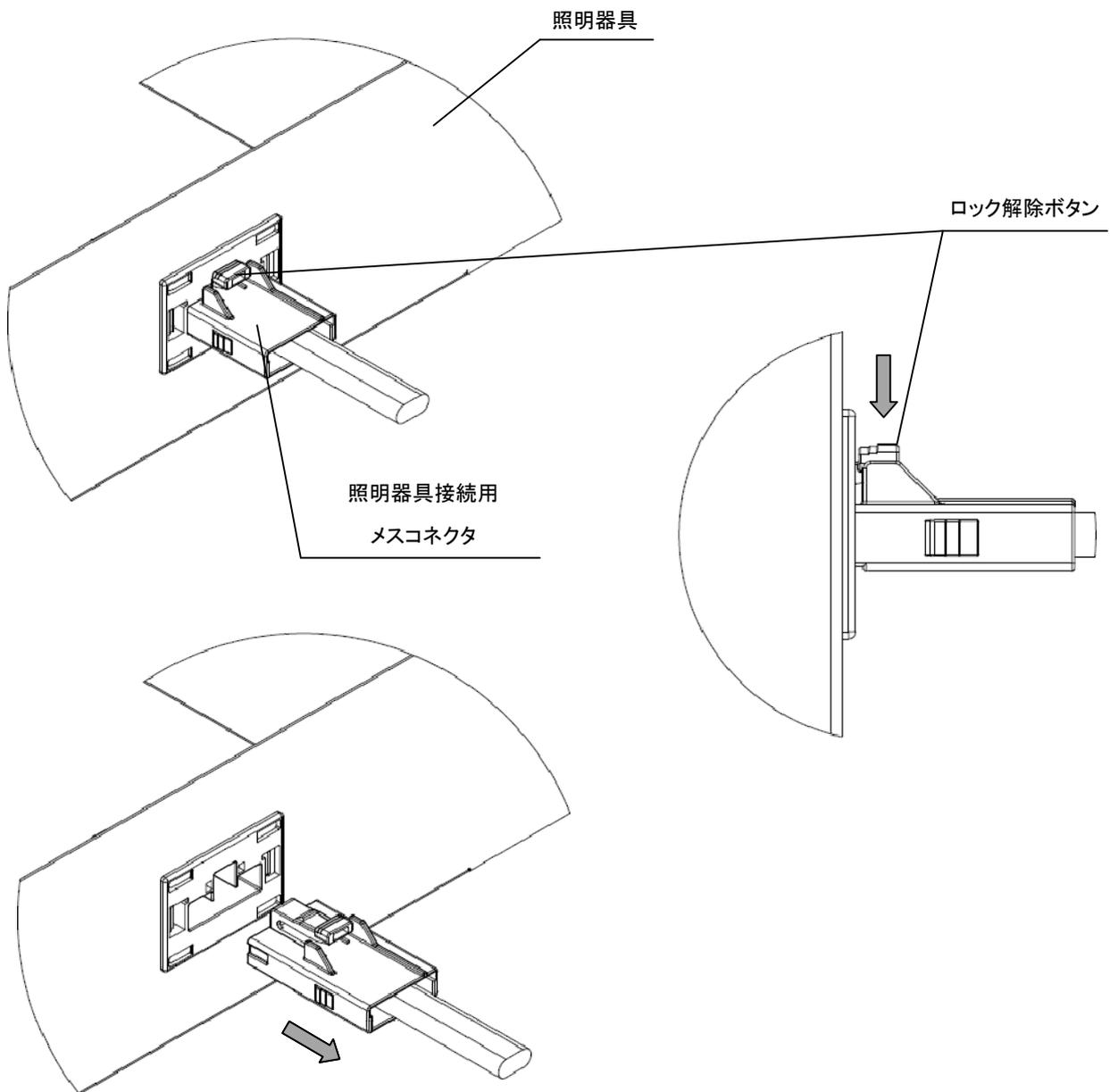
警告



必ず守る

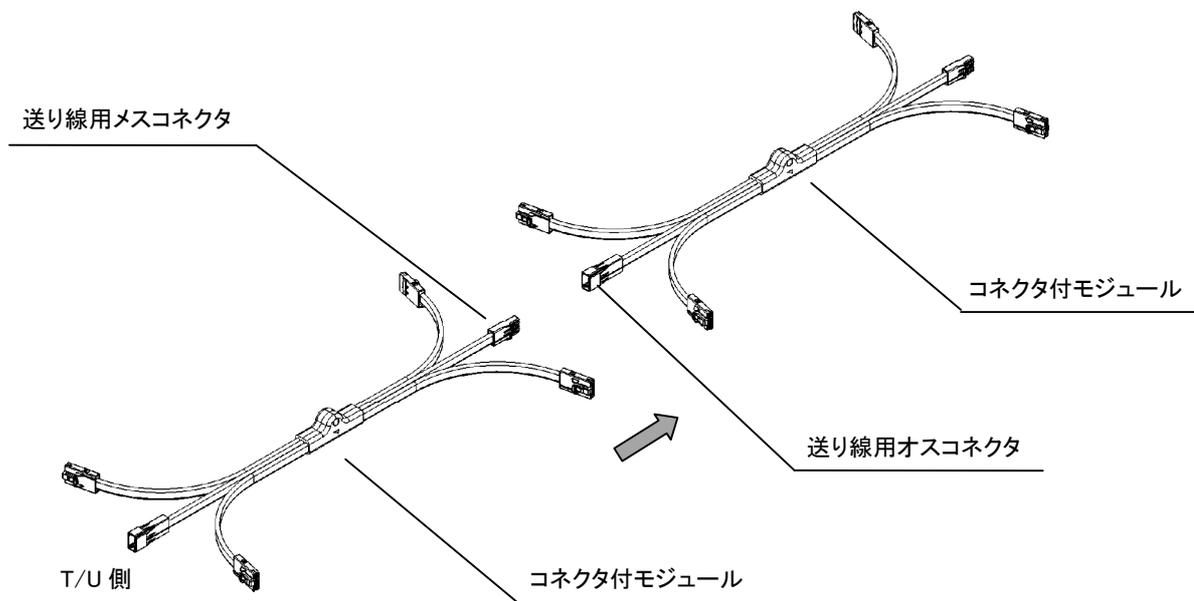
- コネクタの接続は、確実に「カチッ」と音がするまで差し込んでください。接続が不十分の場合、発熱・火災の原因になります。

- ④ 誤って接続した場合は、コネクタのロック解除ボタンを押した状態で、取り外してください。

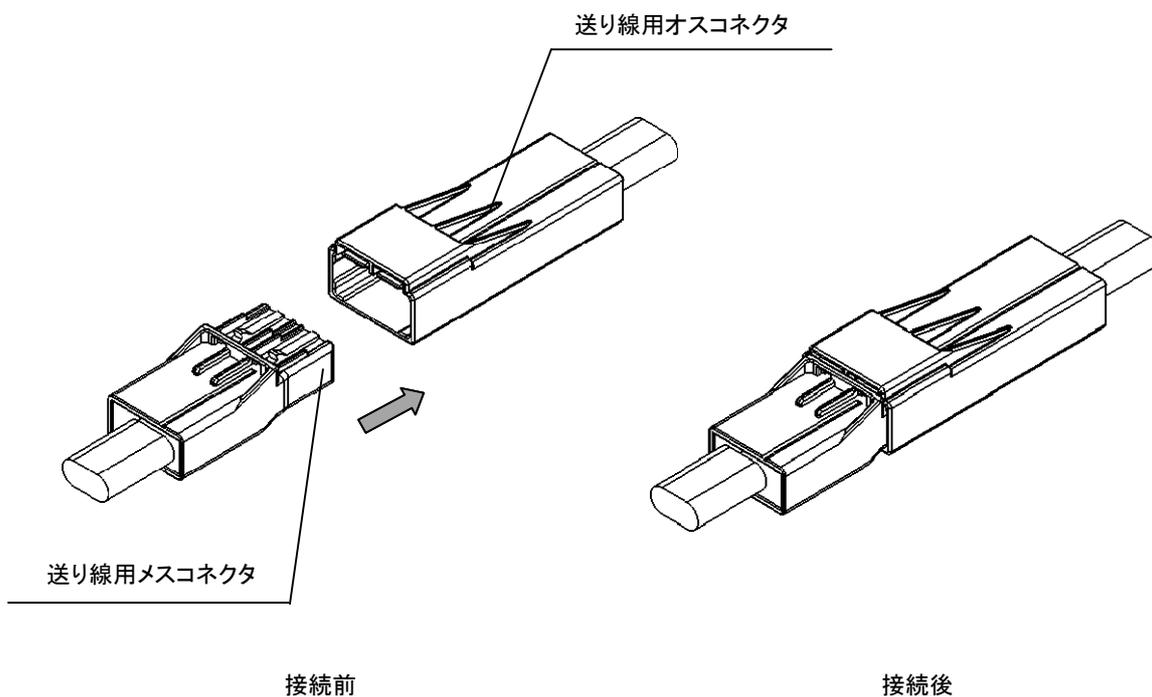


7. モジュール間の接続

- ① 複数のコネクタ付モジュールを送り配線で接続する場合、コネクタ付モジュールに取付けた送り線用コネクタを使用します。



- ② 接続するそれぞれのコネクタ付モジュールの送り線用オスコネクタと送り線用メスコネクタはカチッと音がするまで差し込んでください。



警告

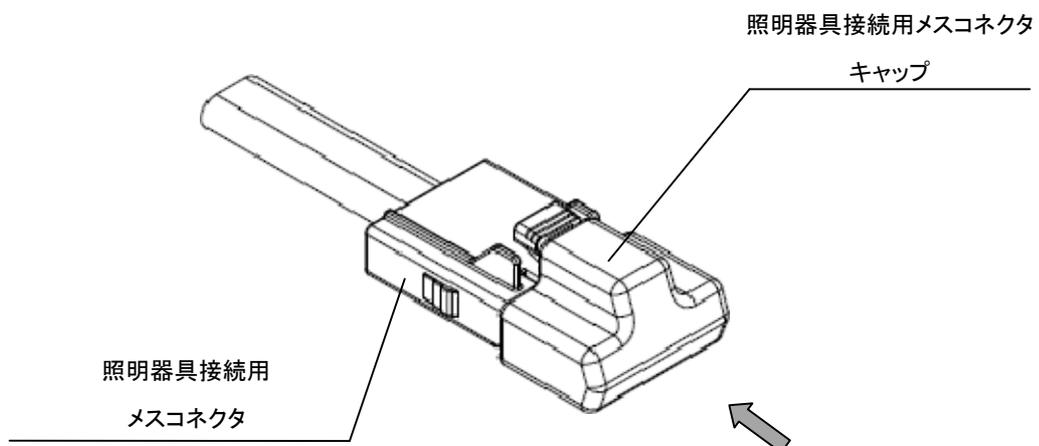
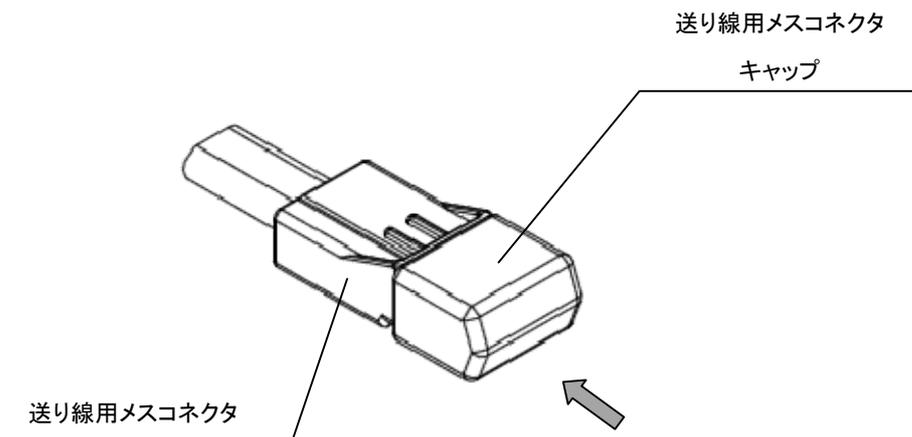


必ず守る

- コネクタの接続は、確実に「カチッ」と音がするまで差し込んでください。接続が不十分の場合、発熱・火災の原因になります。

7.使用しないコネクタの処理

- ① 配線レイアウト、配線設計状況により、全てのコネクタを接続しない場合があります。このようなコネクタには、絶縁のため、キャップを取付けてください。なおキャップには、照明器具に接続するメスコネクタ用と、送り線に使用するメスコネクタ用の2種類あります。



施工時の確認

引き渡し時の確認

●施工後に、下記の手順に従って、動作確認を実施してください。

■流れ

- ① 配線計画図(お客様で準備)
- ② 施工完成図(お客様で準備)
- ③ 点滅確認

■動作発生時の対処法

動作不良の場合は、コネクタの接続状態をご確認ください。

●動作確認を終了した後、

施工要領書は、施工工事店またはお客様で大切に保管してください。

施工確認チェックリスト

- 施工工事終了後は、「取付け状態」・「配線」・「動作確認」・「お客様への説明」について、以下の項目をチェックしてください。不具合が確認された場合は、点検・修理を行ってください。

■取付け状態

判定

| | |
|----------------------|--|
| 1.モジュール本体の脱落はありませんか。 | |
| 2.モジュール本体の損傷はありませんか。 | |

■配線

判定

| | |
|---------------------------|--|
| 1.コネクタはきちんと接続されていますか。 | |
| 2.ケーブルに損傷はありませんか。 | |
| 3.配線計画通りにモジュールは接続されていますか。 | |

■動作確認

判定

| | |
|----------------|--|
| 1.照明器具が点滅しますか。 | |
|----------------|--|

■お客様への説明

判定

| | |
|----------------------|--|
| 1.施工完成図について、説明しましたか。 | |
|----------------------|--|

| | |
|--------|-----------------------------|
| 施主様氏名： | 施設名： |
| 施工店名： | 施工年月日： 年 月 日 |
| 施工担当者： | 施工責任者： |

矢崎エナジーシステム株式会社

〒410-8515 静岡県沼津市大岡 2771

E-mail: smb_support2@jp.yazaki.com